県内で地域移行を先行している市町の事例

三重県 四日市市

I.基本情報

1	人口 (人)	308,241
2	中学校(校)	22
3	実践研究の拠点(校)	6

4	実践研究での指導(人)	40
5	部活動指導員(人)	23
6	活動場所(学校・学校外)	両方

推進体制

体育・スポーツ協会	0
競技団体	0
PTA·保護者会	-

地域スポーツクラブ	0
民間企業	=

Ⅱ.実践研究の取組

団体名

【総合型地域スポーツクラブ】

楠スポーツクラブ・さんさん・うつべ☆スター

【拠点型活動受け皿】

四日市剣道協会・三重県軟式野球連盟四日市支部・四日市吹奏楽楽団

取組内容

・総合型地域スポーツクラブにおける部活動地域移行 「楠中学校」⇒「楠スポーツクラブ」 軟式野球部・陸上部・卓球部・バレーボール部・サッカー 部・軟式テニス部・美術創作部

「三重平中学校」⇒「さんさん」 軟式野球部・女子パレーボール部・パスケットボール部 「内部中学校」⇒「うつべ☆スター」 うつべ☆スター所属クラブに内部中生徒が休日に参加

・四日市剣道協会・三重県軟式野球連盟四日市支部・四日市吹奏楽楽団による拠点型活動 年に12回程度、「練習会」という名で実施。毎回生徒の参加人数を確認し、その人数に応じて 指導者数を決定する。

Ⅲ.実践研究の成果

実践研究で直面した課題	課題に対する対策・工夫	今後の方針・方向性
・他部局の理解 ・持続可能な地域クラブ活動の 運営 ・指導者確保と育成 ・指導者の労務管理	・各団体の理念共有の場の確保 ・関係競技団体と連携し、収支 を踏まえた会費の適切な設定、 徴収方法の検討、保護者負担 経費の調査、検討 ・スポーツ協会、競技団体との 連携による指導者の拡充	スポーツ協会を通じて各種協会と連携し、「拠点型」を拡充する。 また、総合型地域スポーツクラブにおける地域移行を拡充する。

三重県 菰野町

I.基本情報

1	人口 (人)	41,044
2	中学校(校)	2
3	実践研究の拠点(校)	2

4	実践研究での指導(人)	47
5	部活動指導員(人)	4
6	活動場所(学校・学校外)	両方

推進体制

体育・スポーツ協会	0
競技団体	0
PTA·保護者会	7-3

地域スポーツクラブ	0
民間企業	0

Ⅱ.実践研究の取組

団体名	運営団体の確保方法・経緯
元気アップこもの スポーツクラブ	本町の総合型スポーツクラブは設立にあたり、当時の社会教育課がサポートを行って立ち上げた経緯がある。現在も本町では総合型スポーツクラブに健康づくり、スポーツ教室等の委託を行い、連携して取組を進めている関係である。スポーツ教室等、小学生や大人の教室は整備されていたが、中学生の教室は整備が進んでいなかったが、R3年からの国の部活動地域移行の事業と共に、中学生対象の指導者確保を進め、指導者の配置ができるように、町と協力して整備を進めてきた。

取組内容

- 総合型地域スポーツクラブ内にコーディネーター配置総合型地域スポーツクラブの指導者を活用する
- ・総合型地域スポーツクラブによる指導者講習会の実施

Ⅲ.実践研究の成果

実践研究で直面した課題 課題に対する対策・工夫 今後の方針・方向性 ・スポーツセミナー等で受益者 令和5年度は休日に活動して 受益者負担の必要性 ・勝利至上主義にならず、生徒 負担の先行実施 いる25部活中21部活(運動 の心に寄り添える指導者の確 中学校の通信で受益者負担に 部20、文化部1)に元気アッ ついて予告 プこものスポーツクラブから指 ・大会参加に際して、学校部活 ・定期的な会議や地域指導者と 導者を配置し、地域移行を検討 動と元気アップこものスポー の話し合い ・生徒、保護者へのアンケート ツクラブの二重登録となる可 残りの4部活は部活動指導員 能性 を配置することで平日の部活動 指導を支援し、地域移行につな げる。

三重県 大台町

I .基本情報

1	人口 (人)	8,437
2	中学校(校)	2
3	実践研究の拠点(校)	1

4	実践研究での指導(人)	1
5	部活動指導員(人)	0
6	活動場所(学校・学校外)	両方

推進体制

体育・スポーツ協会	0
競技団体	0=0
PTA・保護者会	-

地域スポーツクラブ	- F
民間企業	=

Ⅱ.実践研究の取組

団体名	運営団体の確保方法・経緯
大台町ソフトテニス協会	従来より連携していた。

取組内容

- ・協会と連携して指導員の確保
- ・指導員と学校顧問等と連携を密にとり、指導の時間の把握や指導の充実を図る

Ⅲ.実践研究の成果

実践研究で直面した課題	課題に対する対策・工夫	今後の方針・方向性
・受け入れ団体と外部指導者の 十分な確保ができていない ・各関係者のイメージ共有の困 難	・町スポーツ協会と連携を取り、 受け入れ団体と指導員の確保 に取り組む ・各関係者の協議の場を増やす	今後は生徒数減少により、活動が不可能となる部活動が生じることが予想される。生徒の志向や体力等の状況に適したポーツに親しむ機会を確保するため、なるべく多くの種目が地域移行できるよう検討していく。

三重県 志摩市

I .基本情報

1	人口 (人)	45,300
2	中学校(校)	6
3	実践研究の拠点(校)	1

4	実践研究での指導(人)	1
5	部活動指導員(人)	2
6	活動場所(学校・学校外)	両方

推進体制

体育・スポーツ協会	0
競技団体	0
PTA・保護者会	S — ≋

地域スポーツクラブ	0
民間企業	=

Ⅱ.実践研究の取組

団体名	運営団体の確保方法・経緯	
総合型地域スポーツク ラブ「club志摩」	新しく設立した。	

取組内容

- ・文岡中とclub志摩との合同練習(club志摩の指導による練習)
- ・学校の部活動にサッカー部がない生徒の受け入れ

Ⅲ.実践研究の成果

実践研究で直面した課題	課題に対する対策・工夫	今後の方針・方向性
・運営主体・実施主体の受け入れ体制サポート ・指導者の報酬 ・大会引率の移動手段 ・チーム編成 ・教職員の兼業兼務と役割 ・部活動の定義の再確認 ・受益者負担等の地域理解	・運営協議会の開催 ・地域の公共交通機関との協力 システム構築 ・地元企業への協力依頼 ・早期の地域移行検討委員会の 立上げ ・地域として子どもたちに新た な部活動定義に合った活動が できる環境整備	総合型地域スポーツクラブ 『club志摩』を法人化し、お金 をかけずに会員増につなげてい く手立てを検討中。加えて県の 人材バンク等を活用し、指導者 を確保していく。